

令和元年度まちむら寄り添いファシリテーター養成講座（第Ⅱ期）

「実践編」受講生募集要項

1. 目的

基礎編で「まちむら寄り添いファシリテーター」の基礎的な心得と技術を学んだ受講生が、県内の各地域（フィールド）に分かれて、講師や地域とのつなぎ役であるフィールドコーディネーターのサポートを受けながら、実践活動を体験することにより、地域と寄り添いながら活動できる人材を育成します。

2. 内容

(1) フィールドワーク体験・チームビルディング

フィールドワークの体験として、合宿地で実際に地域活動を行っている方の話を伺い、その地域を学び、受講生との間で新たな気づきを促すチーム学習や、各地域（フィールド）で活動するチームづくりを一泊二日の合宿で行います。

(2) チームに分かれた実践活動

ア 受講生が1チーム5人程度のチームに分かれ、県内の各地域（フィールド）で、地域を知るために現地を歩き、文献やデータを読み取り、地域の方にインタビュー等を行います。

イ 受講生が地域で感じた問題意識から地域課題の仮説をチームで検討し、アンケート等の仮説検証を行います。

ウ 仮説に対する地域の方とのワークショップ等を企画・実践し、ふりかえりを行います。

(3) 講座のまとめ

チームによる実践活動や、受講者が自分の地域で今後行う活動について発表します。

3. フィールド候補地（予定）

大町市、茅野市、塩尻市、佐久穂町、松川町、小布施町

※フィールドは変更になる場合があります。

4. 対象者

- (1) 地域の主体的な学びに寄り添い取組を促したい方
- (2) 地域のリーダーや地域づくり活動の右腕的人材
- (3) 現場を担当する市町村職員
- (4) 公民館職員
- (5) 県職員

5. 講師（メンター）

講師（メンター）は、フィールド調査等を実施した受講生の気づきに対して問いを立て、意味付けることで、地域での活動が順調に運ぶように受講生を伴走支援する役割を担います。

- (1) 広石 拓司 氏（株式会社エンパブリック 代表取締役）
- (2) 新 雄太 氏（東京大学大学院工学系研究科 特任助教）
- (3) 船木 成記 氏（長野県参与）
- (4) その他、講座の実施に必要と判断される有識者等

6. フィールドコーディネーター

フィールドコーディネーターは、受講生が地域に対する理解を深め、実践活動を円滑に行えるように、受講生に地域の概況を伝え、受講生と地域をつなぐ役割を担います。

7. 受講要件

- (1) 県内に居住または勤務する方
- (2) 特段の事情がない限り、全ての講座に出席できる方
- (3) 基礎編全3回を受講している、または動画で視聴している方
- (4) 受講後概ね2年間に渡り、「対話を通じた学びの場づくり」等の活動を行う意欲と見込みがあり、活動状況を主催者に報告できる方

8. 定員

30名程度

9. カリキュラム

別紙1のとおり

※1 受講修了者には修了証を交付します。

※2 出席状況等により、修了証がお渡しできない場合があります。

10. 受講料

無料。ただし受講に要する交通費、宿泊費、その他必要経費は受講生の負担とします。

※合宿に係る経費は宿泊費、飲食費を含めて12,000円程度を予定しています。（前日交流会を除く）

11. 申込方法

別紙2『令和元年度まちむら寄り添いファシリテーター養成講座(第II期)「実践編」エントリーシート』に必要事項を記入の上、事務局あてメールまたは郵送で提出してください（FAX不可）。

12. 募集期間

令和元年6月16日（日）～令和元年7月24日（水） ※必着

13. 受講生の選考

- (1) エントリーシートに基づき選考します。
- (2) 選考結果はエントリーシートに記載のメールアドレスにお送りします。
- (3) 平成 30 年度第 1 期の修了生も応募いただけますが、応募者多数の場合は、未受講の方を優先させていただく場合があります。

14. 留意事項

- (1) 地域で実践活動を行うため、全 7 回の講座以外に必要な応じて受講生が自主的に連絡を取り合い、ミーティング、その他必要な活動を行うことがあります。
- (2) 主催者及び講師が講座の様態を撮影し、インターネット、書籍其他媒体において公開する場合があります。

15. 主 催

長野県及び長野県教育委員会

事務局（申込・問い合わせ先）

〒380-8570（住所記載不要）

長野県企画振興部 地域振興課活力創出係（担当：今井）

【電話】026-235-7021（直通） 【E-mail】katsuryoku@pref.nagano.lg.jp